

守口門真珠算協会会長、大西さん 指導者のための 珠算指導者概論出版



「珠算教室の教育者として成長したい」と話す大西さん

珠算塾指導50年の守口門真珠算協会会長、大西信二さん(75)が珠算指導者概論「珠(たま)の響き」を出版した。急速にICT(情報通信技術)教育が浸透する中、典型的なアナログ文化である珠算の教育的な効用も紹介しながら珠算教育の振興を願った好著だ。

大西さんは守口と門真の両市内でそろばん塾を経営。現在は大阪珠算研究所所長、大阪山本速算协会会长、一般社団法人日本珠算連盟監事。

今回の著書は守口門真珠算協会が毎月発行している「守門通信」の「今月の言葉」の欄に大西さんが二十数年間にわたって

塾経営する上での「教室運営」「指導者心得」「生徒への対応」「組織への協力」などの提言をまとめた。

「指導者心得」では誠意の生徒指導、感性を磨く努力、個人差を認め、その指導を説いている。そして、「生徒への対応」については指導者は一人一人の生徒に温かいプラス思考の言葉をかけることを、「組織への協力」については教室での良い情報を珠算仲間にも報告し合い、珠算の研さんに努め推進を図ることを呼びかけている。

大西さんは「そろばん学習が集中力・創造力を養い、脳を活発にするなど学校教育現場でも評価されるようになりました」と話している。